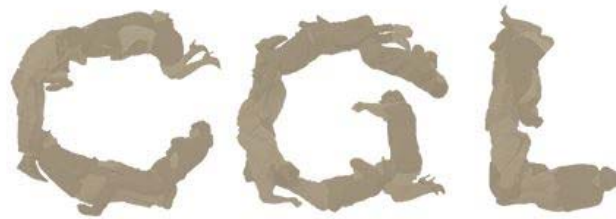

えきつぶ くろいそ

Equipe Kuroiso

第1回(ワークショップ) 14.07.25(金)

議事録



CROWD GOVERNMENT LAB.

クラウドガバメントラボ

目次と当日のタイムスケジュール



【議事録の目次】

1. 事業の背景
2. 今後のスケジュール
3. オンライン投票について
4. 那須塩原市の現状
5. 他の地域における事例紹介
6. グループディスカッションの詳細

【当日のタイムスケジュール】

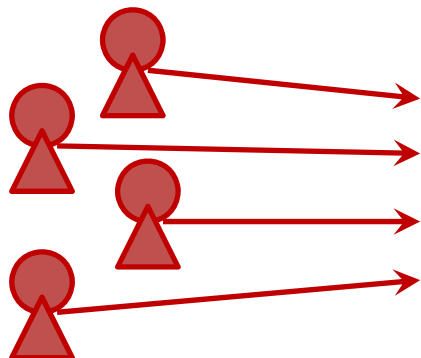
- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 開会の挨拶 | 18:00~18:15 |
| 2. プレゼンテーション | 18:15~18:50 |
| 3. チーム名決め | 18:50~19:20 |
| 4. 休憩 | 19:20~19:25 |
| 5. グループディスカッション | 19:25~20:00 |
| 6. 発表 | 20:00~20:35 |
| 7. アナウンス事項 | 20:35~20:45 |
| 8. 閉会の挨拶 | 20:45~20:50 |

計 2 時間50分

次回のワークショップに向けて参考にしてください

1.まちづくりワークショップの目的

那須塩原の未来のために、今できることを考える場

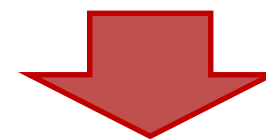


市民の参画



黒磯駅前再開発

行政計画主体の
まちづくり



市民参加型の
まちづくり

- ① 交流施設・図書館の使い方
- ② 空き店舗の利活用
- ③ 将来を担う若年層の活躍

黒磯駅前再開発によって、これからの数十年を決める上で、
いまの市民と将来世代にとって最適なまちづくりを進める

2.全体スケジュール（イメージ）

半年間かけて、黒磯駅前で重点的に取り組むことを決める

◆現状では以下の流れを想定しているが、あくまで住民主体で決定する。

黒磯駅前の課題を話し合う

7月25日 第1回ワークショップ

ワークショップを踏まえ、アジェンダを考える

住民投票アジェンダを出す

9月20日 第2回ワークショップ

アジェンダの優先順位・絞り込みを行なう

住民投票アジェンダを決める

11月 第3回ワークショップ

投票の仕組み・運営方法を検討する

住民投票を実施・盛り上げる

12月 オンライン住民投票

まちづくりを主体的に進める組織をつくる

結果を市民に共有する

1月 投票結果報告

3.オンライン住民投票とは

オンライン投票システムを活用した市民参加のまちづくり



◆オンライン投票システム「Future We Want」を活用した市民投票

黒磯中心市街地を再開発するに当り、まちづくりに対する意見を市民から広く公募、オンラインでの投票システムにより、賛同者が多いプロジェクトを実行へ。

提言・プロジェクト発案など、主体的な意見を市民の賛同で採り入れていく仕組み

4-1.那須塩原市の現状

ポイントの整理



①人口構成について

- 若者のUターンのみならず、Iターンの現状がある
- 高齢化が進んでいる

→人口減少という課題はないものの、人口ピラミッドの最適化を進める必要

②黒磯駅周辺地区の有効活用について

- 駅前の空洞化が目立つ
- 駅郊外部の人口が増加傾向にある

→駅前再開発について、商業地域から暮らしの場としての質的転換を

③交通利用状況について

- 平日における鉄道利用者の約5割が学生である
- 市民の移動における主軸が「車」である

→黒磯駅の利用頻度が高い学生など、若者が滞在できる街に

④産業構造の変化について

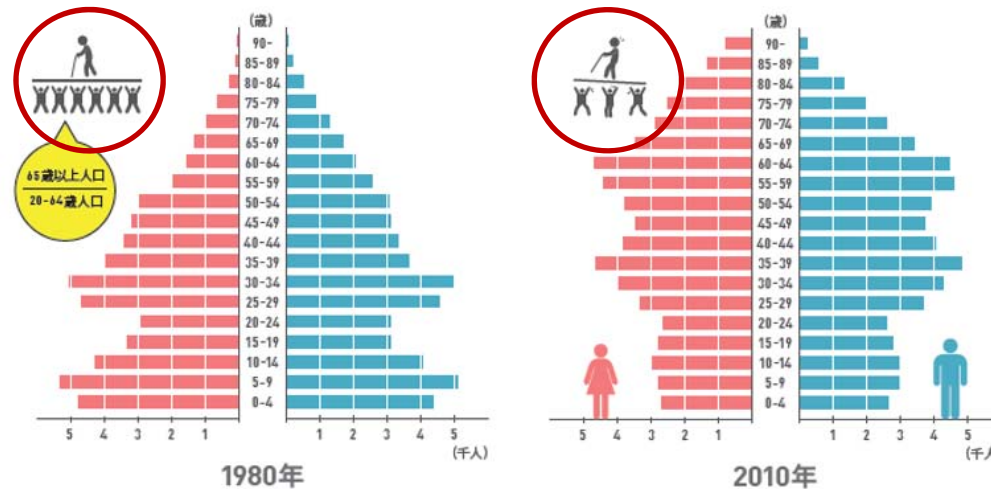
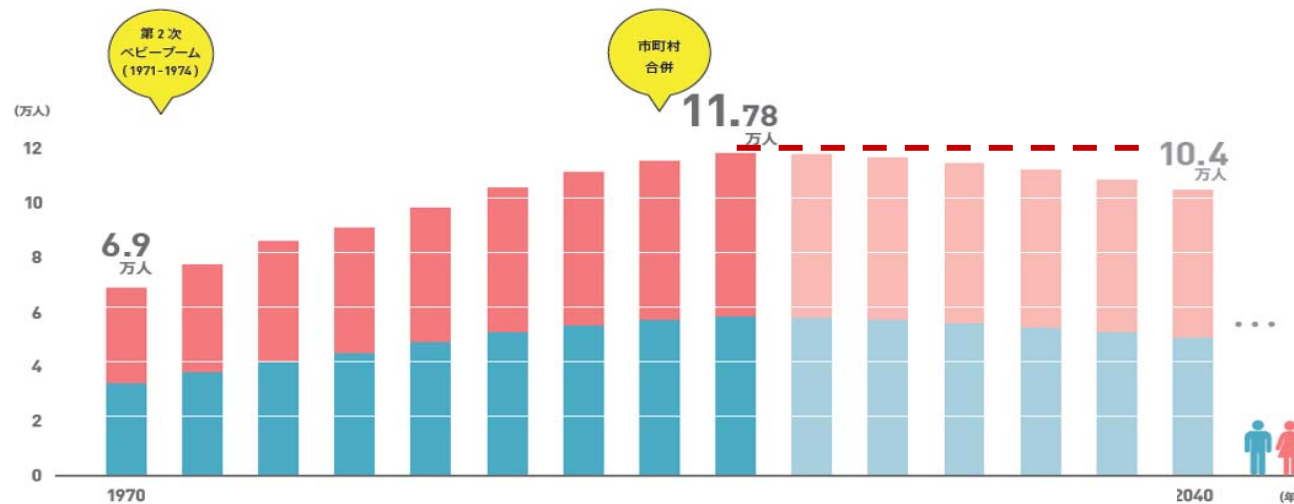
- 製造業が主軸産業である
- 農業分野など第一次産業が弱い

→国の成長戦略に合わせて地域の強みを組み替えていく

4-2.人口構成に関する考察

那須塩原市の人口は横ばい傾向にあるが、高齢化は進展

那須塩原市内の人口予測は、 2015年から減少すると予測されています

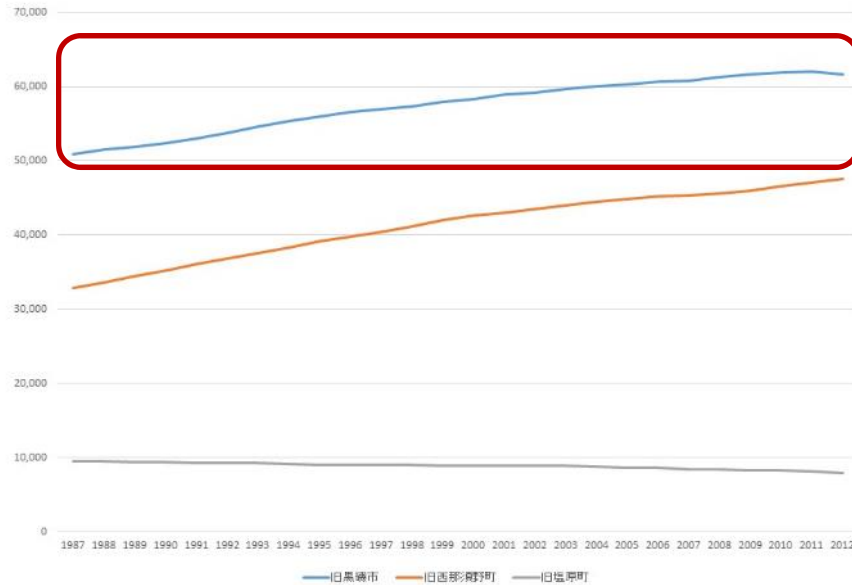


【出典】
国勢調査
国立社会保障・人口問題研究所

4-3.人口構成に関する考察

周辺には戻っているが旧黒磯市中心部は出生率低下

旧市町村の人口推移

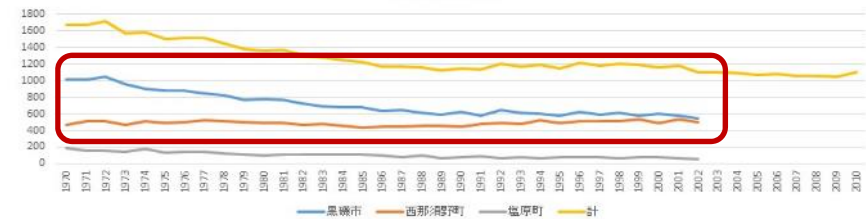


婚姻数・出生数の推移

【出典】
国勢調査
市役所作成資料



出生数の推移

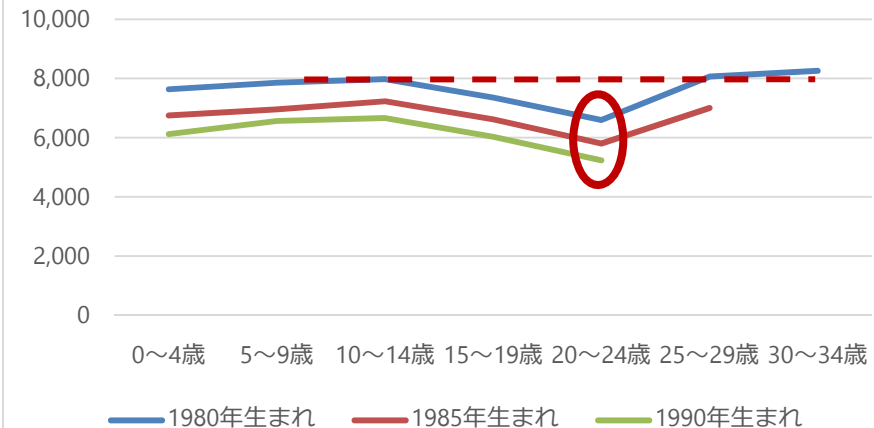


旧黒磯市の人口が増加しているのに対して、
旧黒磯市の出生率は低下している

高齢化率	2000	2010	2020(予測)
那須塩原市	17.7%	25.6%	37.3%
旧黒磯市	21.1%	32.0%	?

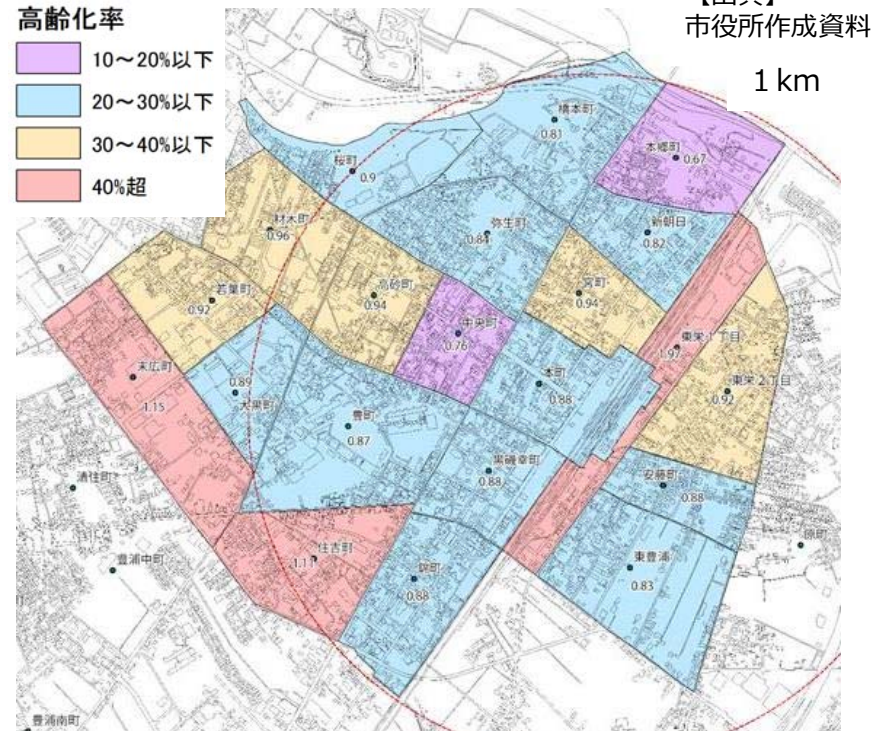
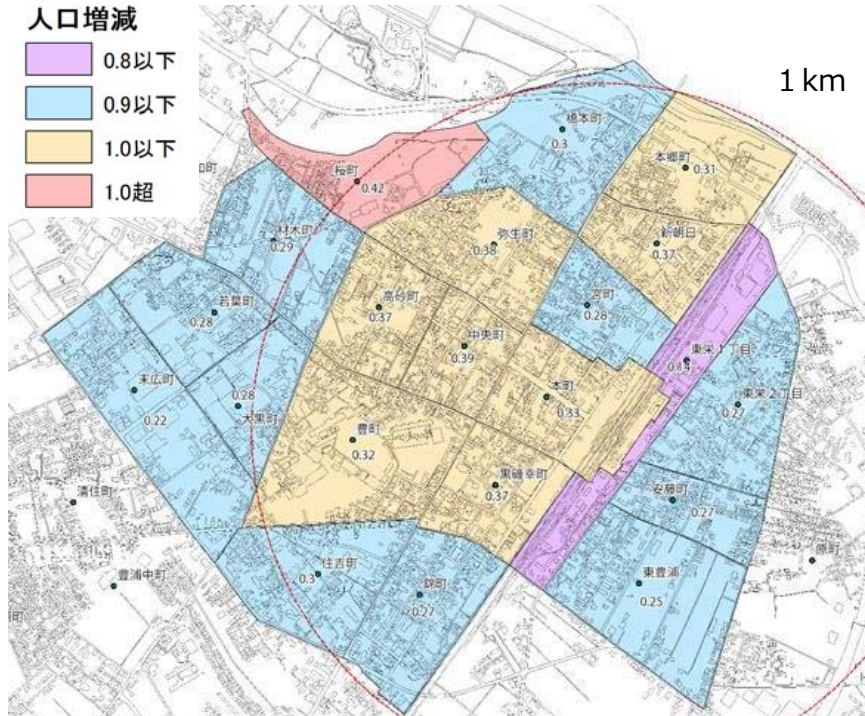
学生が市内に戻る際に若干の増加傾向にある
Uターンのみではなく、Iターンも生じている

生まれた年代別の人口推移



4-4.黒磯駅周辺地区の現況 人口増減

黒磯駅前商業地域の急速な高齢化・空洞化



【出典】
市役所作成資料

【人口】 資料：国勢調査
6,370人(2000年) → **5,146人(2010年)**
※△19.2%
※30年後に約半数、50年後に1/3程度になると予測されている

高齢化率	2000	2010	2020(予測)
那須塩原市	17.7%	25.6%	37.3%
旧黒磯市	21.1%	32.0%	?

- 黒磯駅周辺地区のほとんどの地区で人口が減少している
- 特に駅に近い地区における人口の減少が顕著な傾向にある

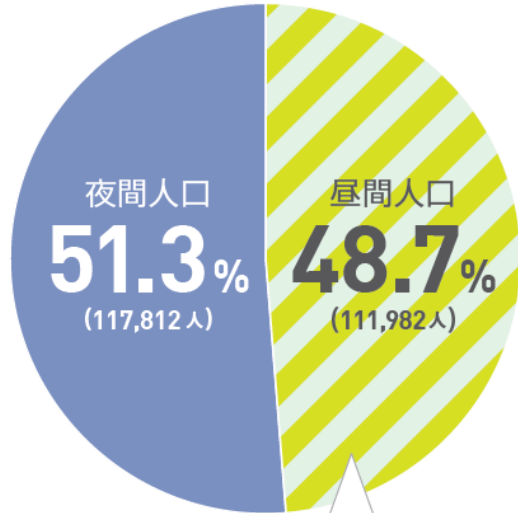
- 黒磯駅周辺ではほとんどの地区が高齢化率2割以上である
- 特に駅に近い地区の高齢化率が3割以上と際立っている

4-5.那須塩原市における交通利用状況

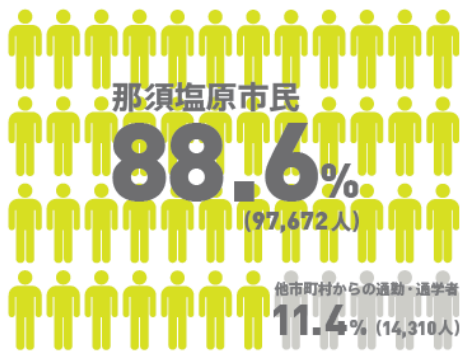
那須塩原市民の大半は市内勤務を行っている

【出典】
市役所作成資料

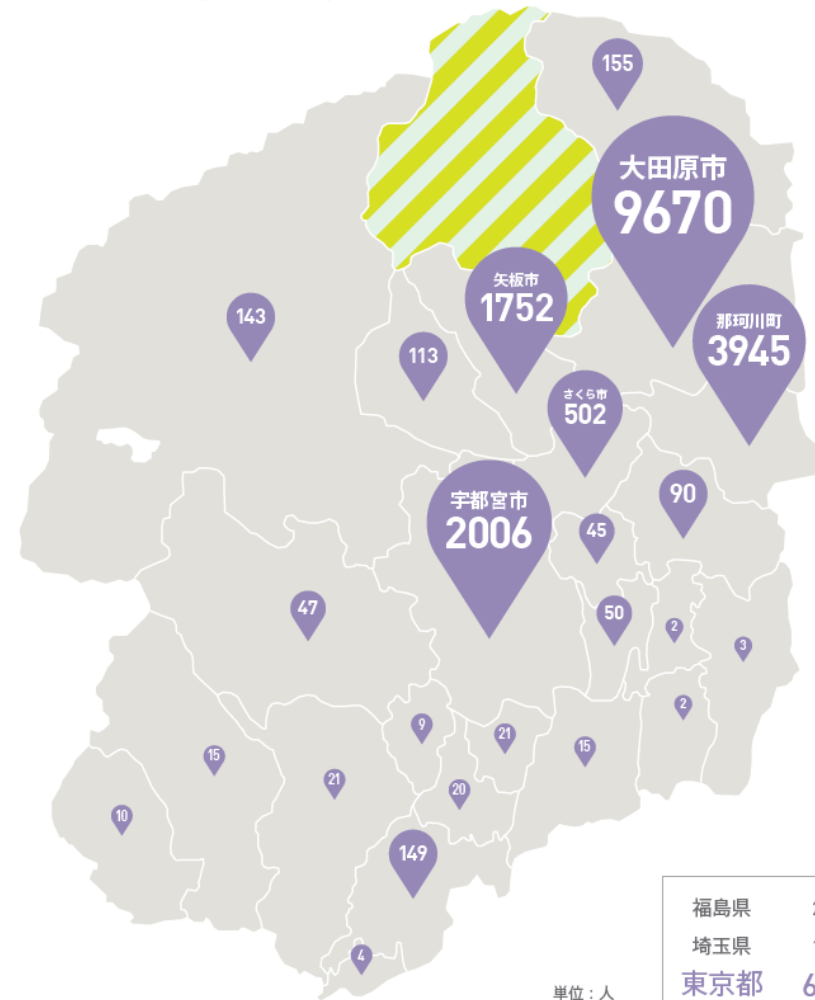
■ 夜間人口と昼間人口の割合



■ 昼間人口の内訳



■ 市外への
通勤・通学者数 (15歳以上)



福島県	267人
埼玉県	199人
東京都	608人
その他	256人

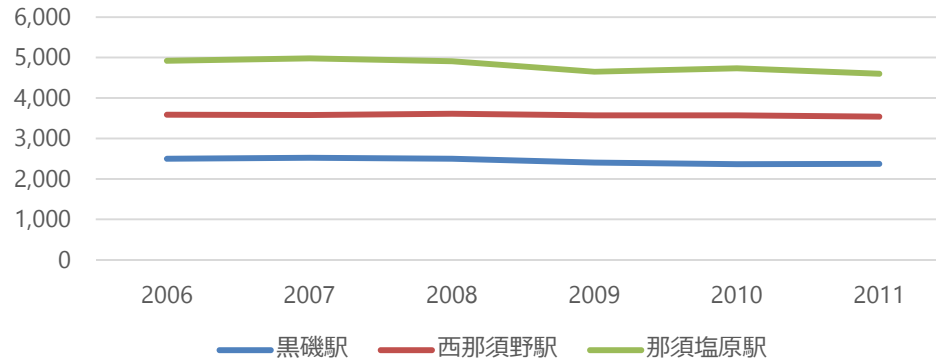
単位：人
2010.10.01 現在

4-6.那須塩原市における交通利用状況

黒磯駅乗降者は横ばい傾向、学生を中心とした利用者

【出典】
経済センサス
市役所作成資料

各駅乗者数(日)

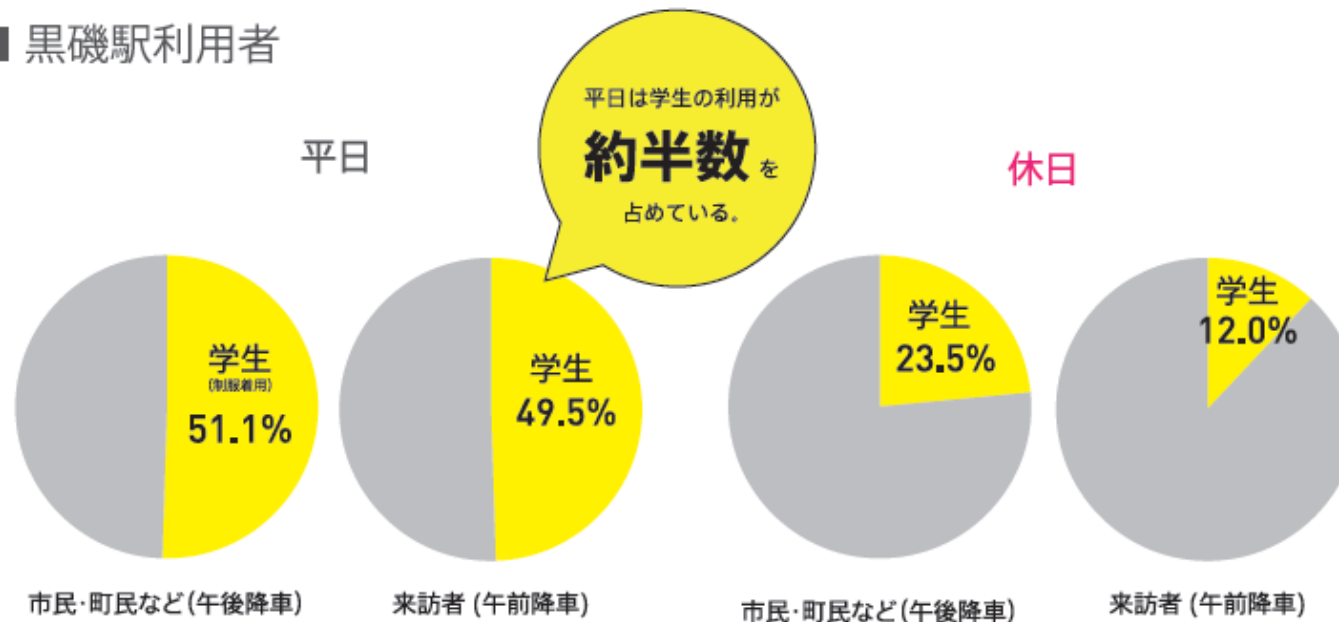


駅までの交通手段が自動車の人

約**6割**

※年間乗者数を日割りしたため、多少のズレがございます

黒磯駅利用者

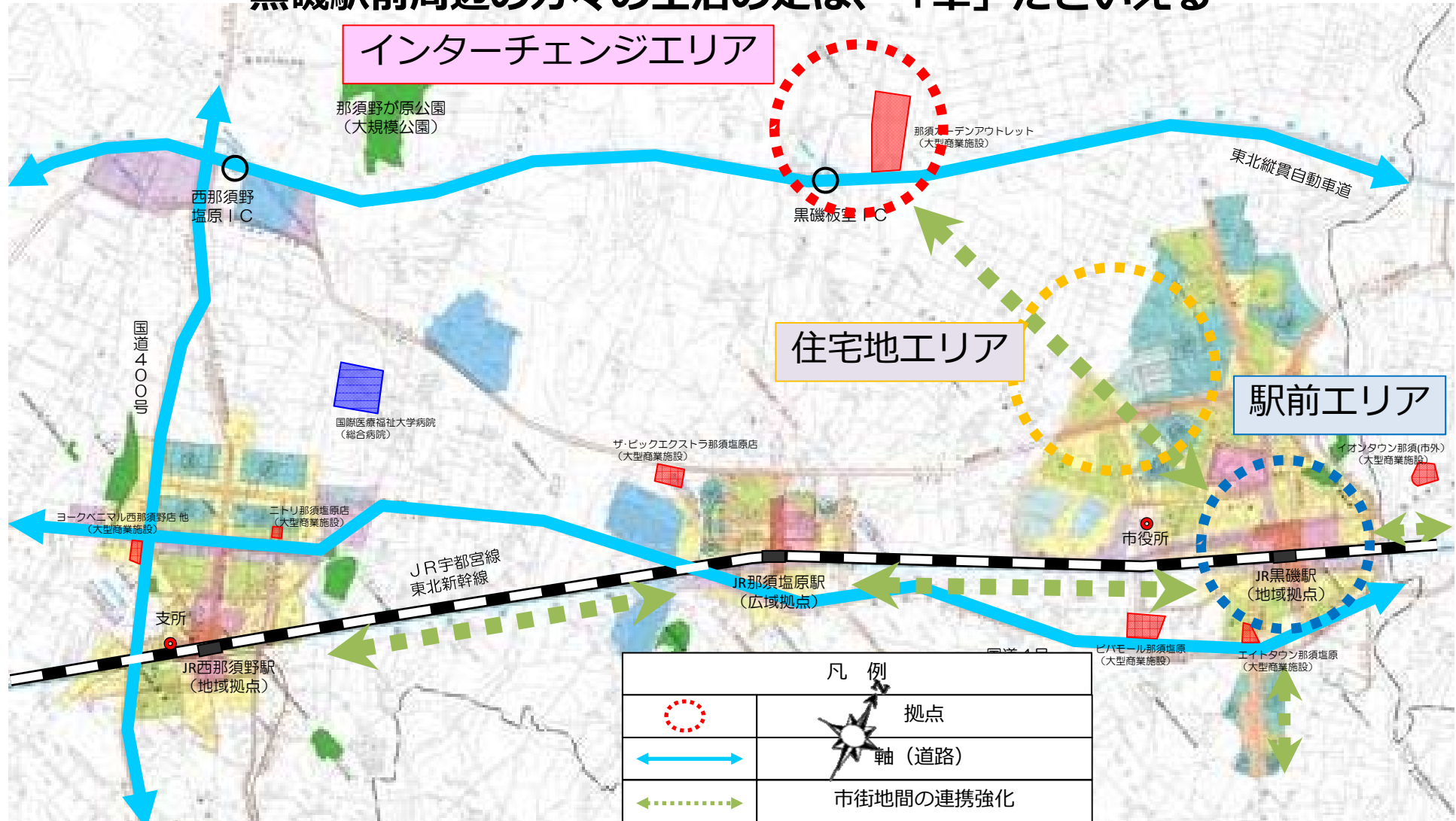


4-7.那須塩原市における交通利用状況

住民の生活を支える交通手段は「車」である

【出典】
市役所作成資料

鉄道を利用する人の大半も駅まで車を使うほど、
黒磯駅前周辺の方々の生活の足は、「車」だといえる

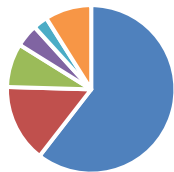


4-8.那須塩原市における産業構造

依然として製造業が強いが、工場撤退などの影響も

那須塩原市における産業競争力

1	製造業
2	卸売・小売業
3	サービス業
4	建設業
5	運輸業
8	飲食店・宿泊業
9	医療・福祉
11	農業



■ 製造業 ■ 卸売・小売業 ■ サービス業 ■ 建設業
■ 運輸業 ■ その他

【出典】 2013年度課税台帳 内閣官房作成資料

アベノミクスの「成長戦略」(日本再興戦略)

分野	「日本再興戦略」に盛り込まれた 主な成長目標
通商の拡大・ グローバル化推進	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人旅行者： 2013年1000万人→2030年3000万人超へ
農林水産業を 成長産業に	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産物・食品輸出額： 現在の4500億円→1兆円へ（2020年） 6次産業市場規模： 現在の10倍の10兆円へ（2020年） 農業・農村全体の所得： 今後10年間で倍増
雇用・女性・ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 失業期間6カ月以上の人： 5年間で2割減 女性の就職率(25-44歳)： 現状の68%から73%へ(2020年) 世界の大学ランキング： 今後10年間でトップ100に10校以上ランクイン 世界と戦える人材育成： 2020年までに留学生を倍増(6万人→12万人)
エネルギー産業を 育成	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー産業の育成： 2020年までに約26兆円の市場獲得 電力システム改革： 約16兆円の新規産業・雇用創出 再生可能エネルギー導入： そのための規制、制度改革を図る
健康・医療産業の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> 健康予防関連市場の拡大： 現在の4兆円から2020年に10兆円へ 医療関連産業の市場規模： 現在の12兆円→16兆円（2020年）へ

人材の活躍強化

女性が輝く日本!

日本の中もグローバル

若者の舞台は世界へ

適した仕事を
選べます

新たな市場の創出

世界も驚く健康長寿社会へ

電力会社を
選べる時代へ

農業はより大規模に！
より自由に！

5-1.他の地域の事例紹介①

近隣から全国まで、様々な地域の良いトコ取りが可能



参考エリア	地域	事例	詳細
インターチェンジ	栃木県佐野市	道の駅 どまんなかたぬま	地域住民と観光客が交流を行い、地域の雇用創出や仕出し弁当・加工品の販売を行っている
インターチェンジ	栃木県宇都宮市	道の駅ろまんちっく村 ボンマルシェ	道の駅におけるマルシェ開催・住民参加型のイベント・里山や農業体験コンテンツの導入が行われている
住宅密集地	富山県富山市	富山ライトレール	低床型路面電車の導入と中心市街地への自動車進入禁止・自転車利用の促進などがセットで検討されている
住宅密集地	栃木県	ふれあいバス	低価格で利用できる市民の足として導入され、スクールバスと高齢者利用の併用が際立つ
駅前	栃木県宇都宮市	ビルスタジオ	商店街空き店舗にクリエイターを呼び込みリノベーションが進められている
駅前	神奈川県横浜市	黄金町バザール	空き家を活用したアートフェスを開催に伴い、学生を中心とした若者の住民が近年増加している
駅前	栃木県宇都宮市	オリオン通り商店街	空き店舗を活用した交流施設が開設されている
駅前	群馬県高崎市	高崎田町屋台村通り	空き地を活用し、安いテナント料で出店を可能にすることで、地元の食材と触れ合える場を斡旋している
駅前	兵庫県篠山市	丹波篠山商店街	古民家カフェなどで地域の素材が活用されている
駅前	香川県高松市	高松丸亀商店街	商店街における土地所有分権と利用権の分離の成功例である
駅前	徳島県神山町	神山町商店街	地域に必要なお店や人材を住民と話し合い、ふさわしい人材を全国に募集するという指名制度により復活した商店街である
駅前	大分県豊後高田市	昭和の町	昭和をテーマにした商店街のリノベーション事例である
駅前	佐賀県武雄市	武雄図書館	市民図書館と民間企業が提携することで実現した図書館にカフェが併設された新たなコミュニティスペースである

5-2.他の地域の事例紹介②

近隣から全国まで、様々な地域の良いトコ取りが可能

参考エリア	地域	事例	詳細
駅前	栃木県那珂川町	馬頭広重美術館	美術館を活用した新たなコミュニティスペースの例である
駅前	三重県多気郡	まごの町	高校生レストランが導入されている
駅前	福井県鯖江市	鯖江市役所JK課	自治体内に女子高生の課を設立し、若者ならではのアイデアをまちづくりに活かしている
駅前	石川県金沢市	金沢学生のまち 市民交流間	大学移転により若者が減ってしまった駅近郊エリアに若者を呼び戻すために作られた学生向けのコミュニティスペース事例である
駅前	山形県朝日町	観光協会管轄 チャりんご	観光協会が電動アシスト付自転車を貸し出した事例であり、愛称を地域の名産品に掛け合わせたり、地域のPRキャラクターが率先して広報を行っている
駅前	スイス ツェルマット	パーク&ライド型の 市街地	利用できる交通手段が電気自動車と馬車のみというエコを前面に出した交通改革の事例である



栃木県佐野市
道の駅どまんなかたぬま



兵庫県篠山市
丹波篠山商店街



佐賀県武雄市
市民図書館



スイスツェルマット
パーク&ライド型の市街地

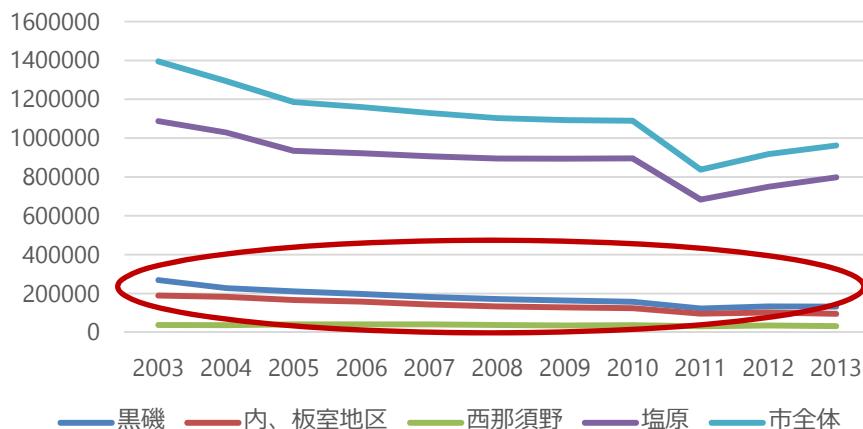
5-3.観光客の流れに関する参考データ

アウトレット開業に伴い、日帰りが増えるも宿泊は減る

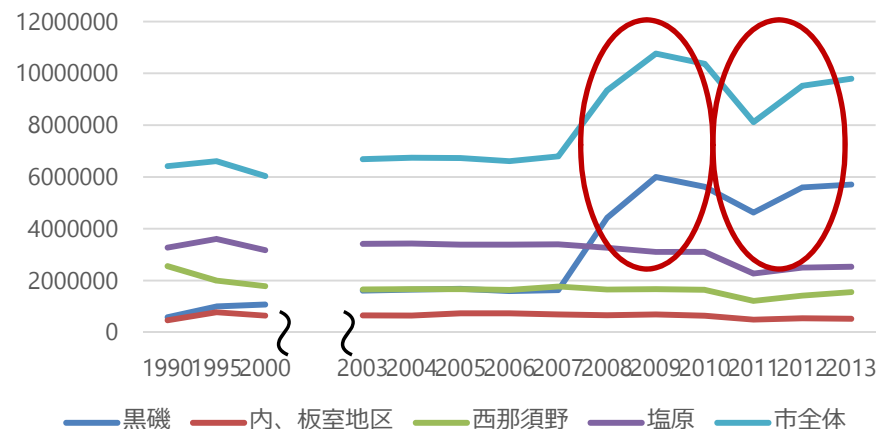


【出典】
市役所作成資料

観光客宿泊数



観光客入れ込み数



ポイント

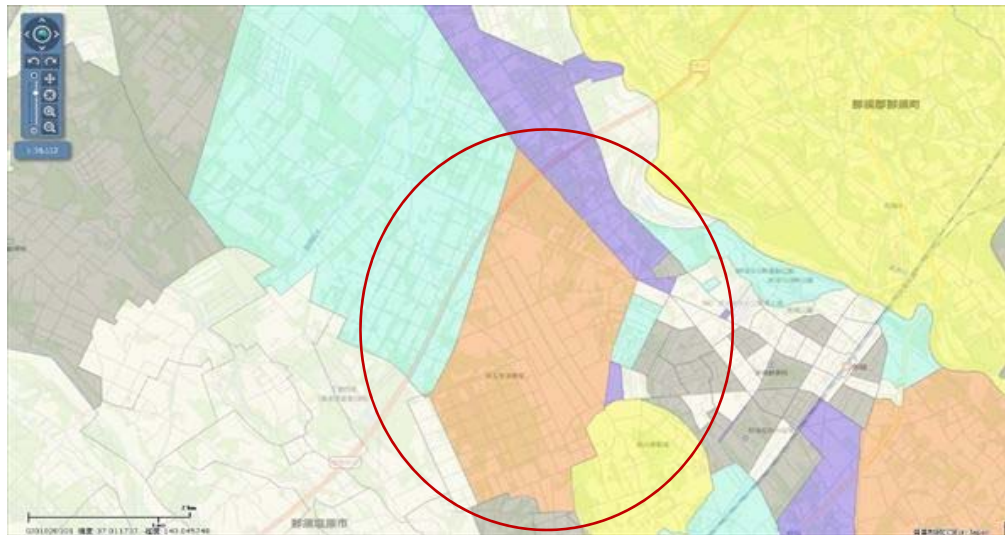
- 宿泊客が減少傾向にも関わらず、観光客が増加しているため、日帰り客が増加している
- 商業施設の開業に伴い、観光客が増えている
- 東日本大震災以降の回復が震災以前に追いつけていない現状である

大型商業施設の台頭で増加する「日帰り観光客」を巻き込む方法の考察がポイントである

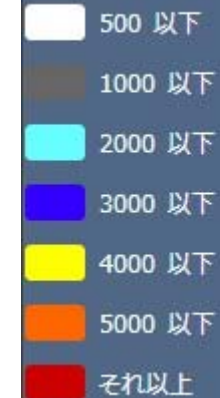
5-4.黒磯駅周辺エリアの人口データ

黒磯駅郊外の人口が増加している

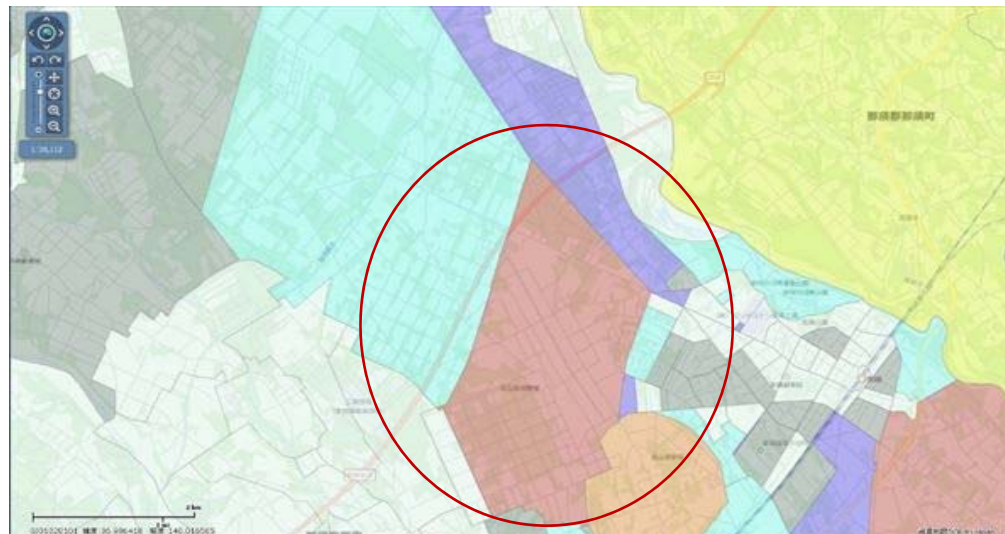
2000年
(平成12年)



男女別人口総数及び世帯総数
人口総数



2010年
(平成22年)



【出典】
国勢調査

5-5.黒磯駅周辺エリアの土地活用法

駅周辺部の商店用地の活用がポイントである



1 km

資料:都市計画基礎調査

区分名称	
田	商業用地
畑	工業用地
山林	公益施設用地
水面	交通施設用地
その他自然地	公共空地
住宅用地	その他の空地

【出典】
市役所作成資料

ポイント

- 黒磯駅前は、比較的商業施設が多くなっている
- 青空駐車場等の低未利用地も散在し、地域拠点としての集積はあまり見られない
- 駅から比較的離れた西側の地区に大型店を中心にした商業施設の立地がみられる

6-1.えきつぶ くろいそ (Equipe Kuroiso)

市民の想いを1つにプロジェクト名を決定



班名	チーム名
1班	黒磯駅前をピカピカにするプロジェクト
2班	Re くろいそ
3班	チーム ZERO
4班	モーがんばっぺくろいそ
5班	SKP70
6班	LIKE黒磯!
7班	黒磯駅前イキイキプロジェクト
8班	りぼーん (^▽^) くろいそ
9班	新: クロイソ創造委員会
10班	えきつぶ くろいそ (Equipe Kuroiso)

みなさんの想いと個性溢れる名称が考案されました！

6-2.各班におけるテーマ選択

4つの切り口を参考に自らのまちを考察する

【WSテーマ】

各グループで、

以下の「4つの切り口」のいずれか、
または組み合わせたテーマを決定し、
模造紙やポストイットを活用しながら、
意見交換を行ってください

【4つの切り口】

1. 人口という切り口
2. エリアの有効活用という切り口
3. 交通という切り口
4. 産業という切り口

【各班の選択テーマ】

班名	①交流施設 人口	②駅前エリア 空き家活用	③交通面 若者参画・ 世代間交流	④産業
1班	○			
2班		○	○	
3班	○	○		
4班		○	○	
5班	○	○	○	○
6班		○	○	○
7班		○	○	○
8班		○	○	
9班	○	○		
10班		○	○	

6-3.各班のディスカッション内容一覧①

ユニークかつ斬新な想いの集結



班名	テーマ番号	アイデア	詳細
1班	①	多様な人たちが楽しめる場の設置	・大人が遊べる多目的スペース
		ビジネスマンが立ち寄ることのできるビジネススペース	・書類整理を行える環境整備 ・シェアオフィスとしての活用
2班	②③	駅前アートギャラリーを開催	・地元の芸術家で個展を開く ・空き家などをクリエイターに使ってもらう
		高齢者や子供が歩いて安心する町	
		駅前の駐車場をリノベーションする	・有名なアーティストの方に依頼してランドマークのようにしたい
3班	①②	心の開放区を作りたい	・老若男女が見て聞いて楽しんで学べる施設を運用する
		子供の遊ぶ場所などに、子供向けのイベントを開催したい	
		駅前で観光客に情報発信を行いたい	・観光客のために駅前に観光案内所のような施設を作りたい
4班	②③	黒磯駅を鉄道マニアにPRする	・鉄道マニアが訪れてみたくなるような施設を作る
		黒磯駅と那須塩原駅間の交通インフラ整備を行いたい	・この区間における鉄道の増加やコミュニティバスなどを導入する
		黒磯駅や駅前に道の駅を作る	

6-4.各班のディスカッション内容一覧②

ユニークかつ斬新な想いの集結

班名	テーマ番号	アイデア	詳細
5班	①②③④	お金がなくても物が買える場所を作る	・物々交換をする場所を設置
		図書館にカフェやレストランを設置	・24時間使える施設を作る
		黒磯ミルクバーを作る	・駅前に牛舎を作る
		駅前通りを一方通行にし、半分を路上駐車スペースとする	・路上駐車は無料とする
		中高生の起業家輩出の場を作る	
		小中学校一貫教育を導入したい	
6班	②③④	歩くことを楽しみながら長く滞在できる場所を作りたい	・マルシェやFabLab等
		リトル東京のような、リトル那須を作りたい	・黒磯駅前に那須の魅力を集めて「歩ける那須」を作る
		馬車や自転車を活用したい	・日本でも有数の自転車のまちにしたい
7班	②③④	緑あふれるエリアを作る	・常に賑わいのあるまちにしたい
		子供(親子)がいつ行っても安心して遊べる場所を作りたい	
		マルシェで何でも揃うようにしたい	・黒磯駅前商店街にマルシェのような機能を持たせたい

6-5.各班のディスカッション内容一覧③

ユニークかつ斬新な想いの集結



班名	テーマ番号	アイデア	詳細
8班	②③	鉄道マニアを取り入れたい	・鉄道マニアの聖地として、4年に一度の鉄リンピックを開催等
		託児所や高校生のスクールチャレンジショップを開設したい	
		駅前を歩行者天国とする	
		黒磯にカジノを作るような奇抜な発想を取り入れたい	
		モノづくりだけではなく、コトづくりに力を注ぎたい	・朝カフェなど時間帯をうまく活用した環境を整備したい ・ライフスタイルに合わせて人が集まる環境を整えたい
9班	①②	大人のために映画館やビアガーデン、カフェが欲しい	
		様々な学生や若者が交流できる施設が欲しい	
		歩行者天国を作りたい	
		駅前に高校生がデートをできる場所を作りたい	・若者が賑わう環境を整えたい
10班	②③	食を中心とした施設を整えたい	・交流センターには食文化を踏まえたフードコードの設置 ・野外ステージの設置 ・駐車スペースの確保 ・チーズや牛乳をメインとしたレストランや加工品
		黒磯駅にも新幹線の駅を作る	・1つの市に新幹線の駅舎が2つという試みに挑戦したい

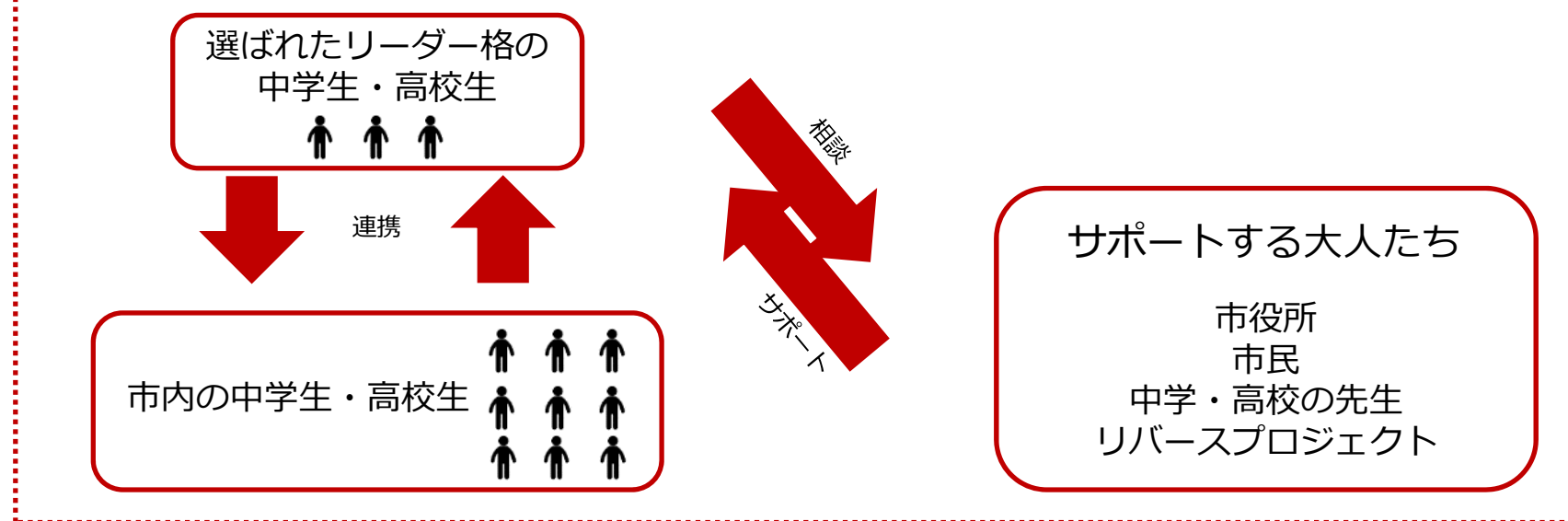
6-6.若者参画の機会を斡旋

(仮)僕らの一歩が地元を変える

次世代的那須塩原市を支える若者に
「地域のあり方」を考えるきっかけの場を提供したい

地元の中学生・高校生を中心とした組織で地域のイベント考案を行う

※大人たちは、あくまでサポーターである



魅力

- 若者の地域参画
- 市民の一体感
- 話題性

課題

- 中高生の企画能力
- 受験生の待遇
- リーダー格の選定

お忙しい中、ご足労ありがとうございました。
次回のワークショップも楽しく充実した会を
みなさん一丸となって作り上げましょう。

CAL

CROWD GOVERNMENT LAB.

2014.07.25(金)

